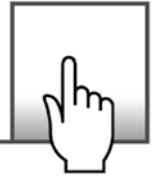


みずなみ議会ちゃんねる。



本会議ライブ中継を開始

6月議会からインターネットで生中継を
始めますので是非ご覧ください。

(瑞浪市議会のページから視聴できます)

市議会新たなるスタート……………	2～3
3月議会の審議……………	4～5
市政一般質問……………	6～12
議決結果一覧……………	13
特集・編集後記他……………	14

発行／瑞浪市議会 編集／議会広報広聴委員会
TEL／0572-67-1112 FAX／0572-68-2043
E-mail／gikai@city.mizunami.lg.jp



「きれいで楽しいね」南小田児童館がオープン

4月に南小田町に子育て支援施設の拠点、南小田児童館が開館しました。長年にわたり多くの人に親しまれてきた宮前児童館の老朽化に伴い、場所を変え建てられたもので、0歳～未就園児対象の親子教室や小学生対象の行事が盛りだくさん用意されています。取材中子どもたちの笑い声が絶えず、若いお母さん方も「新しい仲間がで、悩んでいた子育てに自信が持てそう」と喜んでいました。

新たなスタート

2月8日に執行された瑞浪市議会議員一般選挙で、20名の候補者から16名の議員が当選し、新たな顔ぶれで市議会が始動しました。

二十代2名、三十代1名、女性議員2名が誕生したのは市制六十年の歴史の中でも初めてのことです。最高齢議員が75歳、最年少議員が26歳で年齢差は実に49歳もあります。このことは、より幅広い年齢層から代表が選ばれた証であり、より多くの声が集約でき、好ましい傾向であると言えるでしょう。

会派の構成は、新政みずなみが11名、日本共産党、公明党、市民ファーム、虹、清流会の5会派が各1名で、計6会派となりました。

2月23日に行われた正副議長選挙、各委員の選任などにより、各役職も決定し、市民から負託を受けた議員一同、新たな気持ちを持って、全力で議会活動に取り組めます。





開かれた市議会 を目指して

議長 熊谷 隆男

市民の皆様には、平素から市議会に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新たな出発点となった3月議会で、議員各位のご推挙を得、議長に就任させていただきました。二代表制の一翼としての「チーム瑞浪市議会」をさらに推進していくうえで、全力を尽くし職責を全うする所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

市議会は制定した議会基本条例を基軸に、進めてきた議会改革をさらに加速し、皆様の声を力に議論を重ね、開かれた市議会の実現に向けて鋭意努めてまいります。

そのためにも、議会報告会をより充実し、さらに2年度目となる事業評価も改良を重ねてまいります。

また、皆様の声をさらに反映すべく要望・陳情をより身近に受けられる新たな手法・システムの検討にも着手します。

議会の一環の役割である行政に対する監視機能に加え、行政に対し提案・提言ができる質の高い期待に応えられる市議会を目指しますので、これまでも増して格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会の構成

◎ 委員長 ○ 副委員長

議長 熊谷 隆男

副議長 水野和昭

監査委員 榛葉利広

議会運営委員会

◎ 石川文俊 ○ 成瀬徳夫 館林辰郎

大島正弘 小木曾光佐子 成重隆志

常任委員会

総務文教委員会

◎ 館林辰郎 ○ 石川文俊 樋田翔太 榛葉利広

柴田増三 渡邊康弘 小木曾光佐子 熊谷隆男

成瀬徳夫 小川祐輝 大久保京子

民生福祉委員会

◎ 加藤輔之 ○ 熊澤清和 大久保京子 水野和昭

成重隆志 樋田翔太 小川祐輝 榛葉利広

石川文俊 大島正弘

経済建設委員会

◎ 成瀬徳夫 ○ 大島正弘 成重隆志 柴田増三

熊澤清和 館林辰郎 水野和昭 加藤輔之

小木曾光佐子 渡邊康弘

特別委員会

リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会

◎ 柴田増三 ○ 加藤輔之 成瀬徳夫

小木曾光佐子 渡邊康弘 小川祐輝 榛葉利広

議会改革特別委員会

◎ 成重隆志 ○ 大島正弘 熊澤清和 水野和昭

樋田翔太 石川文俊 大久保京子 館林辰郎

東濃西部広域行政事務組合議会議員

熊谷隆男 小川祐輝 館林辰郎

東濃農業共済事務組合議会議員

熊谷隆男 熊澤清和

所属党派

◆ 新政みずなみ

代表 成重隆志 柴田増三 熊澤清和 水野和昭

加藤輔之 石川文俊 熊谷隆男 成瀬徳夫

小木曾光佐子 大久保京子 小川祐輝

◆ 日本共産党

館林辰郎

◆ 公明党

榛葉利広

◆ 市民ファーム

大島正弘

◆ 虹

渡邊康弘

◆ 清流会

樋田翔太

3月議会の審議

平成27年3月議会は、2月23日から3月23日までの29日間開催し、承認案件1件、人事案件2件、条例案件19件、その他の案件4件、予算案件15件を審議しました。議決結果は13ページに掲載してあります。

総務文教委員会 審査案件（条例案件7件、その他の案件1件、予算案件2件）

まちづくり基本条例 まちづくり会議設置条例決まる

「まちづくり基本条例」は、瑞浪市のまちづくり全般の基本的な理念と、市政運営に関わる市民・議会・行政の役割と責務などを21条からなる条例に定めたものである。

市では、まちづくり基本条例準備委員会とまちづくり基本条例審議会を市民公募、大

学教授、市内の各団体などで構成、ワークショップや懇談会を行い、条例案を作成し、パブリックコメントを実施。市議会では慎重に審議のうえ決定した。

「市民まちづくり会議設置条例」は、まちづくり基本条例の運用及び啓発やまちづく

りの推進の検証等について、調査・審議を行う会議を12名以内の委員で構成するものである。2つの条例は7月1日から施行される。

北野辺地に総合整備計画

日吉町北野地区を対象とした「辺地総合整備計画」を議決した。

この整備計画は、市道南垣外・北野線、欠ノ下・塚本線、前田・木ノ下線の延長4キロメートルを幅員7メートルに改良するもので、平成27年度から平成31年度の5年度で、総事業費14億4千8百万円の事業である。

辺地総合整備計画で実施する事業は、全額「返地対策事業債」が充てられ、償還時に国から財政的支援を受けられる。

この計画を地域振興策として大いに期待したい。



拡張が計画される市道

駅北駐車場 100 台増設

多くの市民が利用する市営駅北駐車場は、常に駐車能力が不足し、かねてから駐車台数増設の強い要望があった。これに応えるべく、駅北駐車場等再整備事業として平成27年度予算9,290万円を計上。駐車スペースを100台増設する。

計画では、平成27年度で地権者の協力を得られれば用地購入

と建物補償を実施。その後、整備を開始したいとしているが、現時点で完成時期は未定という。

市議会としても、地権者の大切な財産であることを認識したうえで、何とか事業がスムーズに完了できることを願い、本予算を認めた。



空から見た駅北駐車場

介護保険制度が変わる

介護保険法改正に伴う瑞浪市介護保険条例の一部改正で、保険料が10段階とより細分化された。国の示す標準が9段階となり、これに従前から市独自で設定した400万円以上の所得に対する1段階を加えた10段階である。

瑞浪市指定地域密着型介護予防サービスの事業では効果的な支援の方法に関する基準

が定められた。特別養護老人ホームへの入所は「要介護3以上」に変更される。但し、特別な事情がある場合には、要介護1・要介護2でも入所が認められる。

新年度予算を審議

教育・保育に関する新制度では、保育標準11時間、保育短時間8時間となる。保育料については、算定の基礎が所得税額から市民税所得割課税額に変更される。

また、幼稚園授業料は今回の改正で減免分を考慮して、現行の月額7,700円を上限に5階層とし、市民

税非課税世帯の授業料は3,000円となる。

一般不妊治療助成事業は平成27年度以降も継続の方針。

がん検診推進事業のクーポン券利用は、子宮がん検診が

18%130名、乳がん検診が29%70名、大腸がん検診が15%380名程度となる見込み。



高齢者介護は地域の絆

シルバー人材センター補助

は高齢者活用現役世代サポート事業分が新たに追加されたため、150万円増額する。

後期高齢者医療事業特別会計では「口腔健診」が新規に

実施される。被保険者の歯や歯肉等、口の中の健康増進を目的とする健診で300人分

130万円を承認した。

経済建設委員会

審査案件（条例案件 2 件、その他の案件 3 件、予算案件 10 件）

ため池耐震対策の分担率を改正

瑞浪市内には大小数多くのため池が存在する。

これらのため池の改修事業において、耐震性が不足するため池のうち、人命・財産に被害を及ぼすことが想定されるものに限り、分担金の分担率を引き下げる分担金徴収条例改正案が提出され、これを認めた。

貯水量が10万トン以上、もしくはは堤高が15メートル以上の大規模ため池は100分の4から100分の2に、それ以外の小規模ため池は100分の5から100分の2.5とそれぞれ分担率を半分に軽減することとなった。

また、「中山間地域農村活性化総合事業」の名称が「中山間地域

総合整備事業」と変更された。



市内のため池

市政一般質問

市政一般質問では、議員が市長等に対し、行政全般にわたり市の施策や方針など諸問題について質問し、答弁を求めます。

3月議会では12人の議員が26の標題にわたって質問をしました。質問した議員ごとに主な質問を掲載しています。

渡邊康弘(虹)

- ・「瑞浪市議会議員選挙・史上最低の投票率」の要因と今後の対策について
- ・「森林」の将来像について

樋田翔太(清流会)

- ・小中学生の携帯電話・スマートフォン等の利用について

成瀬徳夫(新政みずなみ)

- ・人口減少防止対策について
- ・企業誘致について
- ・老朽化橋と災害について

柴田増三(新政みずなみ)

- ・土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域について
- ・屏風山黒の田湿地について

大久保京子(新政みずなみ)

- ・市民の健康づくりについて
- ・本市における橋の補修、架け替えについて

小木曾光佐子(新政みずなみ)

- ・集落支援員制度について
- ・陶中学校の転用について
- ・子ども・子育て支援事業計画について

舘林辰郎(日本共産党)

- ・子ども・子育て支援制度の拡大について
- ・まちづくり推進組織の公共性・民主的運営について
- ・本市の臨時職員の待遇改善について

榛葉利広(公明党)

- ・地方創生に向けた取り組みについて
- ・認知症に対する本市の取り組みについて

加藤輔之(新政みずなみ)

- ・陶磁器洋食器の上絵加工技術等の継承について
- ・中学校統合に伴う閉校式事業について

小川祐輝(新政みずなみ)

- ・本市のインターネットを活用した情報発信について

大島正弘(市民ファーム)

- ・学校給食調理洗浄業務委託事業について
- ・仮称産業振興センター再整備事業について
- ・中高層建築物での消防活動について

成重隆志(新政みずなみ)

- ・市長提案説明要旨について
- ・マニフェストについて



渡邊康弘(虹)

問 子どもたちに自然豊かな森林に触れさせる機会を数多く持たせることが森林復活の第一歩と思うが、本市の子どもたちは森林についてどのような教育を受けているのか。

答 子どもたちへの森林教育は大切なものだと考える。学校の授業で「市の森林の様子」、「私たちの生活と森林」、「日本の農林水産業」等の教育を行い、また授業以外でもまちづくり協議会の方々に講師とした「里山体験」や県事業の「森と水の子ども会議」を利用した宿泊体験学習などを取り入れている。



屏風山から見た瑞浪市の森林

瑞浪市の森林教育の現状

問 今回の市議会議員選挙には多くの若い候補、女性候補が立候補したことで注目度が高まり、若者の投票参加も増えると期待されたが、結果は過去最低の投票率であった。そこで年代別の投票動向を把握し、公表することは今後の市政にも意義があると思うがどのように考えるか。

答 年代別の投票率を把握することは、今後の選挙啓発活動に生かしていくうえで、重

要なことと思うが、時間を要することから現在には行っていない。しかし選挙権を18歳以上に引き下げる公職選挙法改正も審議されており、今後投票率向上を図るためにも、投票者の傾向解析が必要と考えている。このため今回の市議会議員選挙について、年代別の投票結果などを調査・分析し、平成27年度中に選挙管理委員会に報告し、選挙啓発に活かしていきたい。

年代別投票率の把握の必要性



榎田翔太 (清流会)

スマートフォン等の

利便性と危険性

問 近年、小中学生に対して急速に普及する携帯電話・スマートフォン等だが、所持する事のメリット、デメリットをどのように考えるか。

答 メリットは瞬時に情報を検索できる、いつでも連絡が取れる、緊急時の対応に優れる。

近年、小中学生に対して急速に普及する携帯電話・スマートフォン等だが、所持する事のメリット、デメリットをどのように考えるか。

便利機器ではあるが、利便性の裏に危険性が隠れている。使用についての問題点を子どもだけでなく保護者も理解する必要がある。

自ら考え各家庭でのルール作りを

問 2月の川崎市での中学生殺害事件等、ネットにつながる機器を利用したいじめの問題は深刻である。また、長時間の使用は脳の前頭前野（記憶、学習、行動の抑制、将来の予測、コミュニケーション能力の円滑を司る）へ影響を及ぼす。

本市で今後、携帯電話・スマートフォン等の利用を規制する考えはないか。

答 利用ではなく、利用の仕方について規制する必要がある。

ゲーム機を含め、携帯電話・スマートフォン等のネットにつながる機器の長時間使用は、子どもたちの学力や健康面に影響を及ぼす。



高校生と語る会での話し合い

市青少年育成市民会議や高校生と語る会で意見を聞き、本当に大切なのは家庭での話し合いであることを認識した。市が一律にルールを作るのではなく、子ども自身にも考えてもらい、各家庭でのルール作りを呼び掛ける。



成瀬徳夫 (新政みずなみ)

陶小学校跡地に企業誘致

問 雇用の創出、人口減少防止対策の一環として企業誘致は必要不可欠であると考えますが、進出企業の現況と企業誘致用の用地確保をどのように進めるのか。

答 県外の企業が、クリエイション・パーク内で用地を取得し本社工場を移転する見込みである。またスーパージョウ「オー」が来年度4月に稲津町小里地区に出店を予定されている。2016年4月に陶中学校は稲津中学校と統合し、陶小学校は2017年4月に現陶中学校に移る予定。短期的には現陶小学校敷地を企業

用地の候補として活用する。中・長期的には企業の進出需要に対応できるよう、新たな企業用地の適地調査を稲津地区で進めたい。



企業誘致を計画する陶小学校

老朽化橋と水害との

因果関係は検証済み

問 土岐川と小里川の合流点にある老朽化した土岐橋は橋脚が6ヶ所あり上流部でのゲリラ豪雨による山の崩落、河川敷周辺の崩壊などで発生する倒木や家屋の廃材などが堆積し堰となる可能性がある。

この場合、増水した堤防から水が越流しハザードマップの浸水想定区域が浸水する。老朽化した土岐橋との因果関係

係を検証する必要があるか。
答 「土岐川流域における総合的な治水対策プラン」及び「瑞浪市橋梁長寿命化修繕計画」により改修が進んでいるので検証済みであると考えている。

土岐橋については、治水対策を踏まえた架け替えに向けて、現在県と設計協議を行っている。



柴田増三（新政みずなみ）

土砂災害警戒区域見直しと

固定資産の減価補正

問 警戒区域の見直しはされたのか。それに伴う固定資産税の補正の内容は。

答 平成21年5月の指定後、平成25年に土石流によるイエローゾーン（警戒区域）2箇所を追加、砂防ダムの新設、公共急傾斜地対策事業等によりレッドゾーン（特別警戒区域）の範囲が縮小され、7箇所が見直された。引き続き災害対策事業が行われるよう県へ要望して行く。

レッドゾーンに指定された区域の土地の評価は、法規制による土地利用制限が土地価格に影響を及ぼすことを考慮。平成24・25年度の2カ年で地番現況図を整備したもので、平成27年度の固定資産評価替えから、宅地等に限り減額補正を行う。補正の割合は、レッドゾーンに指定された面積の割合に応じ、2〜4割の補正となる。

屏風山黒の田湿地の環境保全

問 黒の田湿地周辺の官行造林への対応と環境調査、保全と活用の取り組みは。

答 官行造林の契約期間が、平成28年3月31日で満了を迎えるため、国の持分を市が買い取る方向で協議を行っている。買取後の整備については、黒の田湿地の保全を図りながら間伐を行い、健全な森林づくりに努める。環境調査は湿地の自然環境を把握し、年間を通して動植物調査等を実施。効果的な保全活動等を行うための基礎資料を作成し、総



黒の田湿地と木道

合的に評価、方向性を盛り込む。豊かな自然環境を保全し次世代に引き継いで行くことは私たちの使命である。



大久保京子（新政みずなみ）

市民の多様なニーズに

応える健康づくり

健康づくりに取り組んでいる。

問 3月16日保健センターの竣工式が執り行われた。地域住民に対して健康相談や各種健診等の他、健康づくりに関する市民の多様なニーズに対応できる保健センターであることが求められるが、健康づくりの取り組みの現状はどのようなか。

答 健康づくりは、乳児期・学童期・青年期などすべてのライフステージで年代に応じた取り組みが必要であり、医師等医療関係者や学校関係者・市民の代表者などで構成する「健康づくり推進協議会」を年1回開催し、現状を共有する中で、それぞれの立場で健



竣工した保健センター

昭和5年竣工の土岐橋

問 益見線の土岐川に架かる土岐橋は、「橋梁長寿命化修繕計画」で架け替えと位置付けられている。土岐橋は、益見と栄町の生活道路の一部であり瑞浪高校・中京高校の通学路でもある。地元住民から早期に安全・安心に渡ることができる橋の架け替えを望む声が出ているがいかがか。

答 現在、県と土岐橋の設計協議を行なっている。計画の橋面高が現在より高くならざるを得ないことから、近隣交差点右岸側の竜門線と松坂・益見線との交差点を高上げる必要があるが、その影響範囲が大きく、現在解決策を検討中である。



小木曾光佐子（新政みずなみ）

陶中学校転用について 設計等、今後の進め方は

問 この転用は、子どもたちにとって大切な施設であり、教育環境のことを一番に考えたものにしなければならぬ。今後の設計、改修はどのようなか。

答 平成27年度に、校舎及びプールの改修に伴う実施設計を行い、児童と教職員にとって使い勝手のよい配置を考えている。平成28年度には校舎及びプールの改修工事（老朽化と小学生仕様にするため新築も視野に入れている）を行い、平成29年度には使用でき



陶中学校

るよう計画をする。

子ども・子育て支援事業計画 地域ぐるみの子育てとは

問 子ども・子育て支援事業計画が平成27年度から5年間を一期として策定され、「保護者が子どもとしっかり向き合い、喜びを感じながら子育てできるまちづくりを進める」とあるが、地域ぐるみの子育てをどのように推進するのか。

答 民生委員・児童委員などによる相談業務や、地域の見

守り活動について、これまでと同様に情報の共有化を図る取り組み、ボランティアグループの育成などに取り組み。また、子育ての孤立化や、不安感を解消するために、地域の関係機関・団体などで構成する「子育て支援ネットワーク会議」の設置に向けて準備を進めていく。

学校給食と高校生の医療費の 無料化で子育て支援を

問 家計所得の格差が広がる経済状況の中、子育て世帯の貧困率は、子ども6人に1人あると言われている。

学校給食は、全額公費負担とし、全ての人が幸せを実感する給食にする考えはないか。また、子どもの医療費窓口無料化制度を高校卒業まで拡大する考えはないか。

答 一食当たりの保護者負担は、小学校280円、中学校320円で、平成25年度の市の負担は約2億6千万円である。給食費は、食材費であるので、受益者負担が原則と考える。経済的に厳しい家庭には就学援助金を支給している。



学校給食センター

一律に無料にする考えはない。また、医療費助成対象の拡大は考えていない。市としては、様々な子育て支援環境の整備に力を入れていきたい。

臨時職員も賃金の引き上げを

問 市に雇用されている臨時職員の待遇は最近改善されていない。年収200万円以下の収入で働く労働者を「働く貧困層」と呼ぶ。市長は、行政改革は行政の質の向上と言われているが、臨時職員の待遇改善を考えたことはないか。

答 平成27年度の臨時職員は、通年雇用216名、短

期雇用19名を予定している。賃金は、事務補助の時は800円、保育士は時給1,067円、保健師・介護支援専門員は1,340円であり、適切な水準と考えている。

賃金の見直しは、社会情勢や近隣市の状況を見ながら、必要に応じて改定する。



榛葉利広 (公明党)

地方版総合戦略の方向性は

問 「地方創生」に関する国が示した長期ビジョン、今後の総合戦略について市の考え方はどのようなか。

答 単に地域間で競争を行うのではなく、地方全体が、若い世代を引き寄せる個性豊かで活力のある地域社会を作り上げることが大切である。そのためには、地方自らが考え、責任を持って戦略を推進することが重要であり、行政だけでなく、地域で実際に

取り組みを進めている市民の皆さんも含めた多様な主体が参画して、自らのこととして取り組んでいただくことが求められている。

市は、第六次総合計画の重点方針に人口問題を位置づけており、総合戦略の策定にあたっては、第六次総合計画を基本に、素案を取りまとめ、幅広く意見を伺い、取りまとめたいて考えている。

認知症対策を万全に

問 認知症サポーターの数と、その養成についてはどのようになされているか。

答 本市では、認知症サポーター養成講座を平成20年から開催しており、これまでの累計では2,626人の方に受講していただいている。

平成27年度からは、これまでに認知症サポーター養成講座を受講された方を対象として、サポーターが地域の認知症の方や、その家族の方への支援の担い手として、活動していただくためのきっかけづくりを目的とした、認知症サポーターのステップアップ研

修についても実施していく。



「オレンジリング」サポーターの証



加藤輔之 (新緑みずなみ)

陶磁器上絵加工技術の

継承映像制作

問 近代洋食器の歴史を創った瑞浪の陶磁器は需要減から加工技術職人は減少し消滅の危機にある。特に「金くさりし」「曲面転写」「金線引き」技術など製品や書籍による資料はあるが動く映像として記録する必要がある。このことは技術の継承のみならず文化面、産業振興にも役立つのではないか。

答 上絵加工の事業所は、市内では十数社あるが、高齢化や後継者不足もあり技の伝承が心配される。手描き、金線引き、吹きなどの上絵加工技術は、これまでの洋食器産業を支えた、伝承するに値する、価値の高い技術である。美濃



豪華な金彩加飾の洋食器

閉校式事業

問 中学校統合に伴う、閉校式事業について。本市として、どのように捉えているか。

答 統合により5つの中学校が閉校する。開校以来日吉中・釜戸中は71年、陶中・稲津中は68年、瑞陵中は57年の歴史に幕を下ろすことになる。各中学校ごとに閉校式を行う予

定。

閉校式は二部構成を想定。第一部では市と教育委員会が共催する「閉校式」。第二部では、地元住民による実行委員会が主催する「お別れの会」。市としては、第二部の「お別れの会」についても、支援・協力をする。

小川祐輝（新政みずなみ）



インターネットを活用した 情報発信の現状

問 市民アンケートの結果に表れているように情報発信力強化が課題となっているが、本市のインターネットを活用した情報発信について現状はどうか。

答 現在インターネットを活用した情報発信は、ホームページとメールマガジンを中心にしている。ホームページでは主に、ゴミの収集や防災情報など市民の関心の高い情報、災害情報など緊急性の高い情報、観光やイベント情

報を掲示している。また、メールマガジンの「絆メール」では登録された5,143名に、災害の情報等を発信している。平成27年4月にホームページを刷新し、携帯端末に対応する機能、音声読み上げ機能、漢字にフリガナをつける機能などが追加される予定である。また、新たに健康・医療に関するメールマガジンを発刊し、情報発信の強化をしていきたいと考えている。

SNSを使った情報発信

問 SNSを使った情報発信についてどのように考えているか。また、ソーシャルメディア活用指針の作成、職員研修を行うてはどうか。

答 SNSを使った情報発信は、これまで情報が届かなかった人にも情報が届けることができること、また、魅力ある情報を発信することで、情報を受け取った市民がさらに情報を拡散していただけるので有効な情報発信手段だと考えている。また、誰にどのよ

うな情報を発信するのか、運用の手順を明確にしたガイドラインの作成を検討しており、若手職員を情報発信のリーダーとし、職員の研修も実施していく。



大島正弘（市民ファーム）

民営化の効果と食の安全確保

問 学校給食の調理洗浄業務を民間業者に委託する主な理由と、コスト削減はどれほどか。

答 また、食物アレルギーを含む食の安全、食材の地産地消への対応はしっかりと担保されていくか。

答 より効率的な民間活力を導入することにより、満足度の高いサービスが維持でき、そのうえ人件費については年間5,700万円の削減ができ、その費用は従来に比べ約

半額となる。

食物アレルギーの原因は72品目あり、該当児童数は205名に達している。施設の関係もあり完全除去食は不可能であるが、希望する保護者53名に食品名・内容成分・栄養価を記載した冊子を配布している。地元産の食材については積極的に仕入れ、特に豚肉では瑞浪特産ポークを全体量の約35%を使用した。

中高層建築物の災害対応は

問 全国的に建物が高層化する中で、本市における中高層建築物の状況はどのようなか。また、火災等の災害に対する訓練と装備は充分備えられているか。

答 平成27年2月現在で78棟の中高層建築物が存在する。平成26年度は駅前にできた共同住宅にて進入方法の確認や消火訓練を実施したのをはじめ、75回の訓練を行い、関係者との連携を強化し、職員の知識・技術の向上に努めている。はしご車の導入には多額の予算と人員が必要となるこ

とから、十分とはいえないが現状の装備で体制強化に励みたい。



消火訓練実施の共同住宅



成重隆志（新政みずなみ）

総合戦略の策定体制

問 市の総合戦略の策定体制とまちづくり基本条例を策定する強い思いは何か。

答 総合戦略は、多くの方の参画を得て策定した第6次瑞浪市総合計画を基本とし、市内に総合戦略推進本部を置くほか、広く意見を聞くため、連合自治会、議会代表等による「総合戦略推進会議」を設置し、平成27年12月までに策定する。まちづくり基本条例

は、市民、議会、行政が協働でまちづくりを進めるルールブックである。一人ひとりが瑞浪の市民であることに誇りを持ち「幸せを実感するまちづくり」を協働して進めたい。特に課題である若い人材育成のため、平成27年度に「夢づくりチャレンジ研究室」を設置する。意欲のある若者の視点で企画した事業により、新たな風を地域に吹き込みたい。

市長マニフェスト達成状況は

問 昨年9月議会で、次期市長選への出馬の決意と残された2期目のマニフェストの課題を、任期中全力で取り組む決意が示されたが、その成果はどうか。

答 緊急時に正確な情報を発信するため、東海地方で初めての試みとして、全世帯に防災情報システムの防災ラジオを貸与する。

国が進める地域消費喚起に先駆け「建設券・住ま居る券」を発行した。2千万円のプレミアム付きで、約4億5千万円の工事に利用された。建設業の裾野は広く市内経済の活性化に繋がった。

中学校統合に向け、順調に準備を進めることができた。瑞浪南中学校は、平成28年4月の開校に向け、平成27年度に校舎等の改修を行う。瑞浪北中学校は、日本一の学校を創る心意気で、文部科学省のスーパーエコスクール実証事業の採択を受けた。平成31年4月開校に向け、平成27年度は設計を行う。

長年の課題であった国道19号瑞浪恵那道路は、今年度全ての手続きが完了し、国の予算付けを待つのみとなった。

2期目のマニフェストはほぼ達成できた。次期市長選挙のマニフェストは、発表できる時期に公表する。

トピックス

いよいよ実現へ 国道19号瑞浪恵那道路

今から遡ること四半世紀前、平成2年に始まった「一般国道19号瑞浪恵那道路（瑞恵バイパス）」の要望活動。平成26年4月の都市計画決定に続き、国の平成27年度予算成立を受け、ついに悲願であった事業化にこぎつけることができました。

これまで、両市の経済界や自治会などとも連携しつつ、長年にわたり「国道19号瑞浪恵那道路促進議員連盟」や「瑞浪恵那道路整備促進協議会」による国等への地道な要望活動、そして何よりも地元住民の厚い熱意、昨年5月には、市総合文化センター文化ホールを満席にした総決起大会など数多くの事柄が思い出されます。関係各位にはあらためて厚くお礼申し上げます。



対面2車線の国道19号（釜戸町）

今回事業化が決定した区間は、全要望延長12・5キロのうち、瑞浪市土岐町鶴城地区から恵那市武並町の国道418号までの8・2キロ区間。平成27年度には測量等が予定されています。今後、リニア中央新幹線アクセス道路としても、全線早期完成が強く望まれるため、引き続き粘り強い要望活動に努めます。



3月議会議決結果一覧

案 件	議案番号	議 案 名	付託先	審議結果
承認案件	承第1号	専決処分の承認について（平成26年度専第8号 瑞浪市土砂災害防止対策事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について）	省 略	承認
人事案件	議第1号	瑞浪市監査委員の選任につき同意を求めることについて	省 略	同意
	議第24号	瑞浪市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	省 略	同意
条例案件	議第2号	瑞浪市まちづくり基本条例の制定について	総務文教	可決
	議第3号	瑞浪市市民まちづくり会議設置条例の制定について	総務文教	可決
	議第4号	瑞浪市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
	議第5号	瑞浪市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
	議第6号	瑞浪市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
	議第7号	瑞浪市教育長の給与その他の勤務条件に関する条例及び瑞浪市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決
	議第8号	瑞浪市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	総務文教	可決
	議第9号	瑞浪市積立基金条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第10号	瑞浪市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第11号	瑞浪市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第12号	瑞浪市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第13号	瑞浪市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第14号	瑞浪市介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第15号	瑞浪市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	民生福祉	可決
	議第16号	瑞浪市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第17号	瑞浪市幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
	議第18号	瑞浪市分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第19号	瑞浪市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	可決
	議第40号	瑞浪市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	民生福祉	可決
その他の案件	議第20号	北野辺地に係る総合整備計画の策定について	総務文教	可決
	議第21号	訴えの提起について	経済建設	可決
	議第22号	市道路線の廃止について	経済建設	可決
	議第23号	市道路線の認定について	経済建設	可決
予算案件	議第25号	平成26年度瑞浪市一般会計補正予算（第7号）	3委員会	可決
	議第26号	平成26年度瑞浪市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	民生福祉	可決
	議第27号	平成26年度瑞浪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	経済建設	可決
	議第28号	平成26年度瑞浪中央区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	経済建設	可決
	議第29号	平成26年度瑞浪市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	経済建設	可決
	議第30号	平成26年度瑞浪市水道事業会計補正予算（第1号）	経済建設	可決
	議第31号	平成27年度瑞浪市一般会計予算	3委員会	可決
	議第32号	平成27年度瑞浪市後期高齢者医療事業特別会計予算	民生福祉	可決
	議第33号	平成27年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算	民生福祉	可決
	議第34号	平成27年度瑞浪市介護保険事業特別会計予算	民生福祉	可決
	議第35号	平成27年度瑞浪市介護サービス事業特別会計予算	民生福祉	可決
	議第36号	平成27年度瑞浪市農業集落排水事業特別会計予算	経済建設	可決
	議第37号	平成27年度瑞浪市駐車場事業特別会計予算	経済建設	可決
	議第38号	平成27年度瑞浪市下水道事業特別会計予算	経済建設	可決
	議第39号	平成27年度瑞浪市水道事業会計予算	経済建設	可決
発 議				
条例案件	発議第2号	瑞浪市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	省 略	可決

特集

国登録 有形文化財 (建造物)



金弊社酒波神社本殿

瑞浪市には建造物の国登録有形文化財が8件存在する。

その登録基準は、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」とされている。その他にも「市指定文化財（建造物）」が4件存在する。

こういった建造物には、建物の歴史的、文化的価値のみならず、建造物周辺の景観を含めて評価されるもので、減少することはあっても、増加するものではないので、地元の遺産として大切に保存し、後世に伝えるべきものである。

各行政団体は、それぞれに登録を受け付け、保存のための支援を行っている。特に、8件中7件が集中する「中山道美濃路」と言われる山岳道路がある集落には、代表的な建物が登録されており、昔の小さな宿場町の景観が色濃く残されている。

本市でも、景観条例を制定するための検討が現在なされており、文化財や街並みに配慮していく方向性が示されようとしている。

最近では、外国人旅行客の増加もみられ、観光資源としての価値も一層注目されてきており、地域の活性化に大きな役割を果たすものと期待している。



細久手宿大黒屋旅館



大湫宿脇本陣

編集後記

毎年3月議会は役員選挙に始まり、条例案件、人事案件、予算案件等多くの議案が審議され、議員の最も忙しい議会と言えます。

2月の選挙では、新たに5名の議員が当選し、新しい風を吹き込んでくれるものと市民からの期待も大きいと思います。

3月議会ではこの5人を含む12名が一般質問に立ち、久しぶりに傍聴席が賑わいました。

新人議員の質問、提案は若者や女性に注目されており、今後の成長と、「議会ちゃんねる。」の新規読者を開拓してくれるものと期待するとともに、我々も初心に返り、一層議員活動に励む覚悟であることを確認しました。

議会広報広聴委員会

委員長 水野和昭

6月定例会の予定

◆会期

5月25日(月)～6月22日(月)

◆市政一般質問

6月15日(月) 9時～

6月16日(火) 9時～